

永年の功績に深く敬意を表します

平成12年度大館市功労者

4氏に決定しました

大館市功労者表彰は、社会福祉の増進、教育・文化の発展、産業の振興、保健衛生・納税貯蓄の向上など、市政に対して大きな功績があった個人や団体に対して行われます。毎年4月1日（市の記念日）に表彰式が行われ、今年度は次の4人のかたに決まりました。



佐々木 弘尚 氏
(葛原・77歳)

昭和54年から昭和62年まで大館市収入役として、また昭和62年から平成3年まで大館市助役として在職し、大館市政を発展へと導かれました。

また、平成5年から平成9年まで大館市社会福祉協議会会長として福祉事業の推進と福祉団体の育成に尽力されました。同じ平成5年から現在まで大館市シルバー人材センター会長として、高齢者の社会参加と生きがい作りに積極的に取り組んだ功績には顕著なものがあります。



合 家 忠 幸 氏
(桂城・85歳)

大館市老人クラブ連合会役員として、永きにわたり友愛訪問や地域ボランティア活動などを積極的に推進されました。平成5年から平成9年までは大館市老人クラブ連合会会長に就任し、老人クラブの育成と高齢者の福祉向上に取り組まれました。

また、交通安全協会桂城支部の役員として約40年もの間、交通安全活動に尽力され、市民の交通安全意識の高揚に大きく貢献されました。



鴫 田 三 郎 氏
(有浦4丁目・80歳)

昭和44年、謡曲喜多会幹事長として大館市芸術文化連盟に参画し、芸術文化の振興に情熱を注がれました。

その後、昭和57年には北鹿地区芸術文化協会連絡協議会を設立。昭和61年には大館市芸術文化連盟の社団法人化を実現され、現在は(社)大館市芸術文化連盟理事長などとして幅広く活躍され、加盟団体及び後進の育成に尽力するなど、大館市民への芸術文化の浸透に多大な貢献をされました。



高 橋 禎 三 氏
(旭ヶ丘2区・74歳)

昭和31年から大館北秋学校図書館協議会委員、昭和50年同副会長、昭和56年から昭和61年まで同会長、さらには秋田県学校図書館協議会副会長として、大館市はもとより県内の学校図書館、公共図書館事業の質的向上に貢献されました。

また、私費を投じて「たかはし文庫」を開設され、子どもたちへの読み聞かせ運動を実施するなど、図書を通じた教育活動は他の模範となりました。